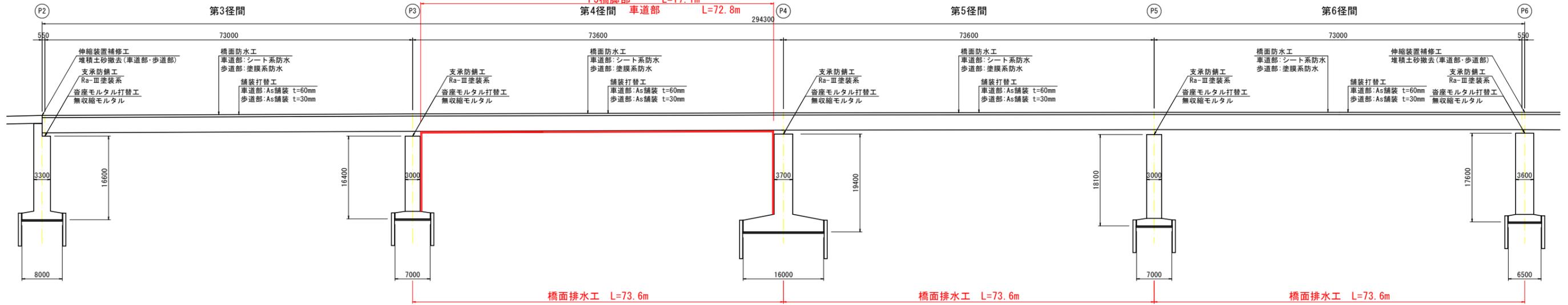


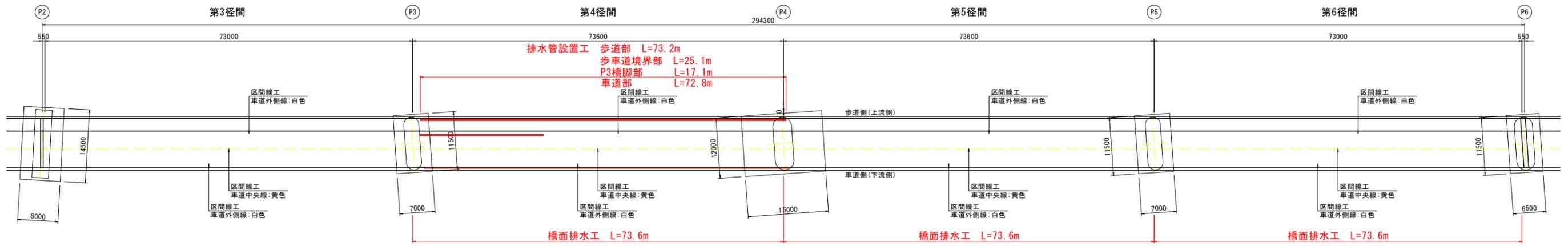
補修一般図(その2)

(4径間連続鋼箱桁橋区間:P2~P6[第3~第6径間])

排水管設置工 歩道部 L=73.2m
歩車道境界部 L=25.1m
P3橋脚部 L=17.1m
側面図 S=1:400

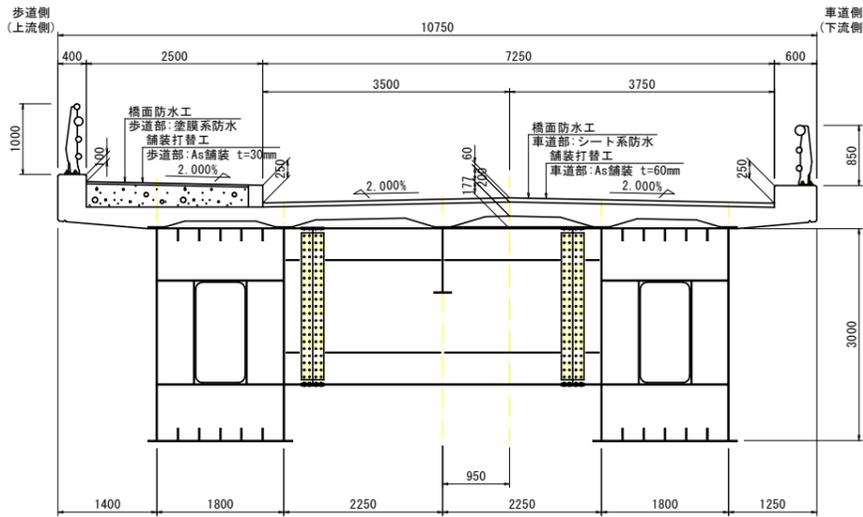


平面図 S=1:400

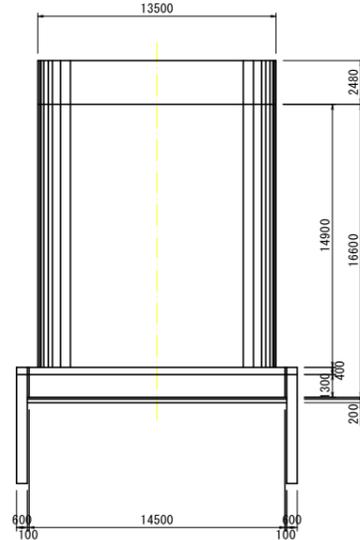


下部工正面図 S=1:200

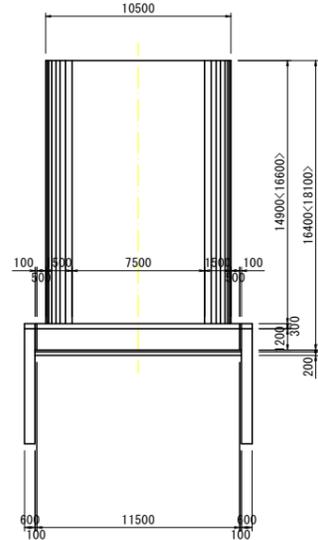
断面図 S=1:50
4径間連続鋼箱桁橋
(P2~P6:第3~第6径間)



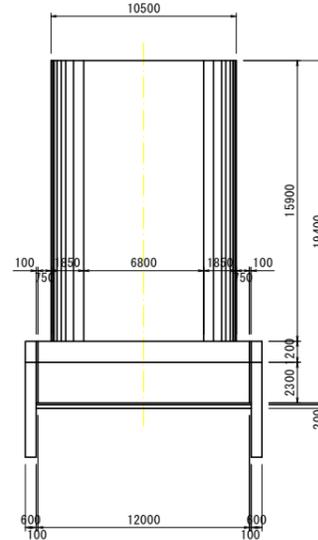
P2橋脚



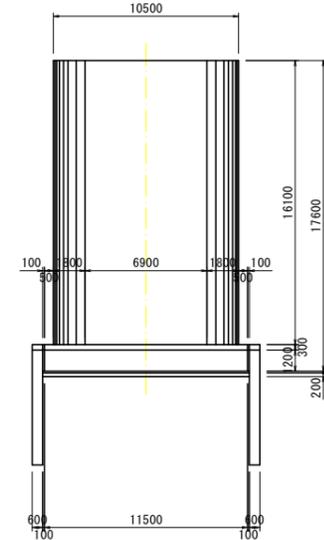
P3橋脚, <P5橋脚>



P4橋脚



P6橋脚



実施設計図面

三三大橋:補修計画図

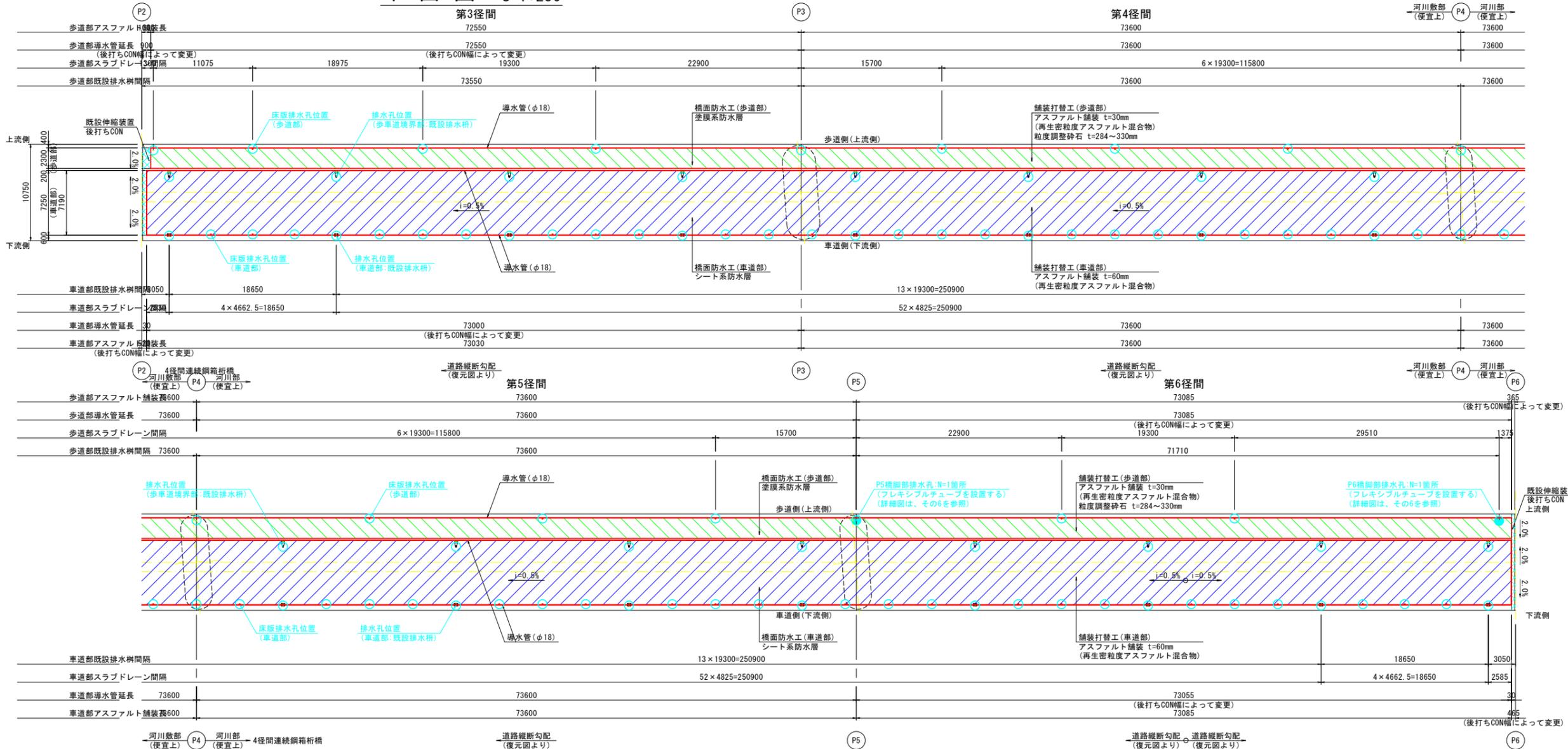
工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂地 橋梁修繕工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂地(三三大橋)
図面名	補修一般図(その2)
縮尺	図示 図面番号 1 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成

橋面防水工図(その3)

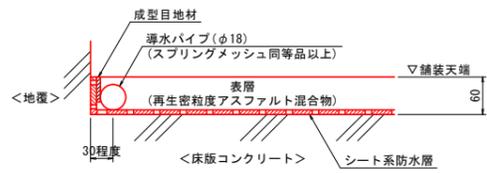
(4径間連続鋼箱桁橋区間:P2~P6[第3~第6径間])

平面図 S=1:250

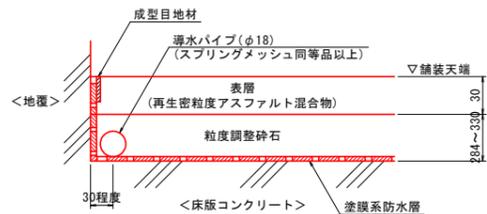


端部処理構造図

車道部

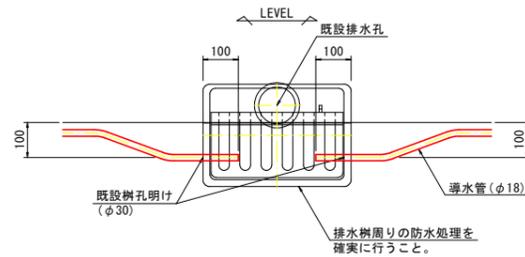


歩道部



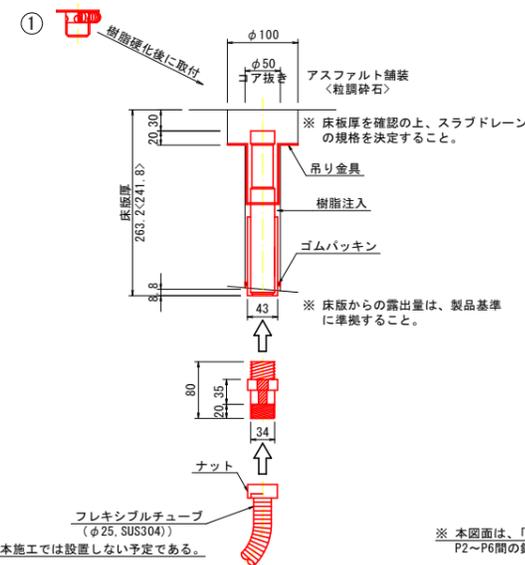
既設樹との取合い S=1:10

車道部



床版排水孔詳細図 S=1:5

(参考図: 既設橋用)



縦断勾配	設置間隔(m)
1%以下	5
1%を超える場合	10

「道路橋床版防水システムガイドライン2016」
 (公社)土木学会,平成28年10月(2016年),P29

床版新設排水孔の設置について
 ・車道部(下流側)の床版新設排水孔の設置は、上表に準拠して縦断勾配よりH#5m程度とした。
 ・ただし、歩道部(上流側)の床版新設排水孔の設置は、流水面積が少ない等を考慮して、既設排水樹間隔と同間隔(H#20m程度)とした。床版新設排水孔の設置位置は、既設の排水樹と排水孔の間とした。

流末排水処理(河川保安区域:P4橋脚より手前)について
 ・国土交通省の堤防工事が進行中のため、河川保安区域が確定しないが、河川保安区域を考慮して横引き排水管を設置した。横引き用設置区間は、P4橋脚より手前とした。
 ・歩道部の横引き用排水管(鋼箱桁内側)は、設置箇所が鋼箱桁内側でかつ、横桁が設置されている。また、排水管設置位置を鋼箱桁下面に納めるため、二方向に排水勾配を設けた。

流末排水処理(河川区域:P4橋脚より奥)について
 ・車道部(下流側)は、床版新設排水孔の設置間隔がH#5m程度のため、設置箇所が多い。
 ・1箇所づつフレキシブルチューブを設置することが望ましいが、1)吉野川を渡河する橋梁であるため、H#5m程度間隔にフレキシブルチューブが置かれることは景観上あまりよろしくない。2)5年に1回橋梁定期点検を実施するため、鋼箱桁への水掛り状況を確認することができる等を考慮して、河川区域の床版排水孔にはフレキシブルチューブの設置は基本行わない。
 ・ただし、本設計では今後の設置を考慮して、設計図面にはフレキシブルチューブを設置を明記している。
 ・歩道部(上流側)は、床版新設排水孔の設置箇所が少ないため、フレキシブルチューブの設置を行う。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三好三好線 三三三橋」の復元図から想定で作成
 P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成
 設置の有無については、監督員に必ず確認すること。

- 注記
1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. アスファルト舗装は、現地切削後確認し決定すること。
 4. 床版を削孔する際は、事前に鉄筋探査を行い鉄筋を傷つけないように注意すること。
 5. 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)がないが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)がある。
 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0m+73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
 このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等ととりか

実施設計図面

三三三橋:補修計画図

工事名	R7三土 三好三好線 (三三三橋)
路線名等	(一)三好三好線 東・加茂地 橋梁修繕工事
工事箇所	三好東よし町加茂地(三三三橋)
図面名	橋面防水工図(その3)
縮尺	図示 図面番号 3 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

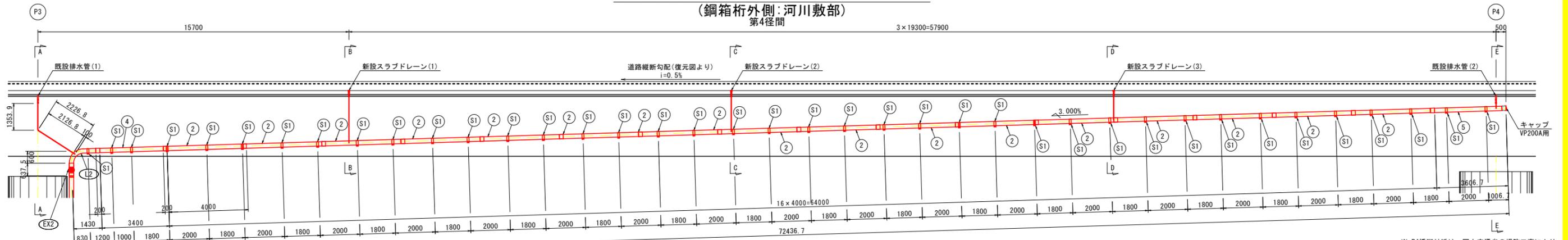
橋面防水工図(その5)

(4径間連続鋼箱桁橋区間: 第4径間)

歩道張出部排水詳細<2/3> S=1:100

(鋼箱桁外側: 河川敷部)

第4径間



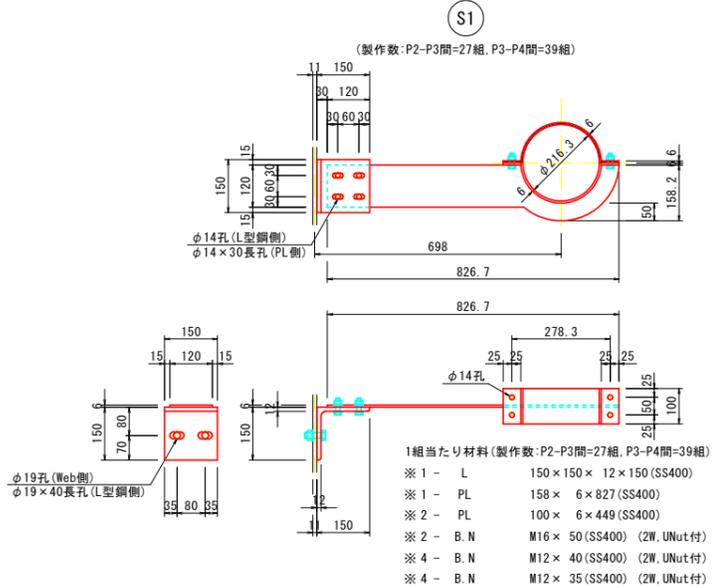
- 直管
 ② 16 - V.P 200A × 4200
 ④ 1 - V.P 200A × 3600
 ⑤ 1 - V.P 200A × 3807
- 加工管
 1 - L2
- 伸縮管
 1 - EX2

※ 設計段階では、吊足場の設置は施工性等を考慮して全区間(径間長:L=73.60m)計画している。

※ スラブレーンは、現地状況を確認して排水管受口をかわして接続すること。

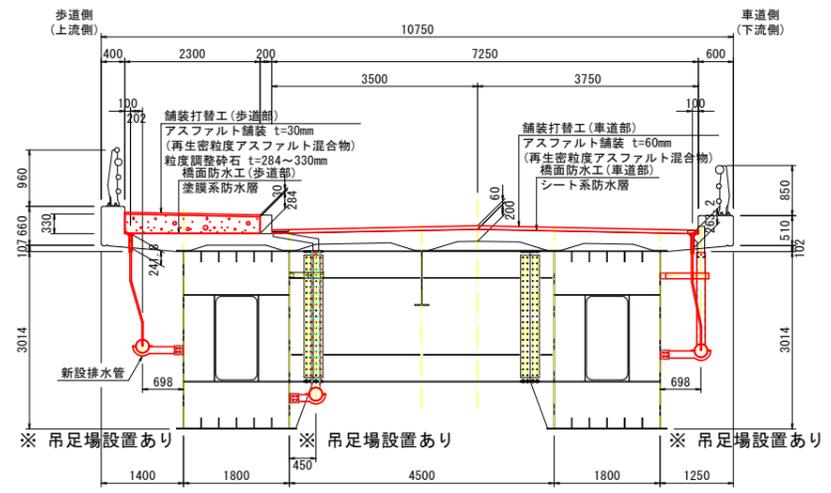
※ 取付金具は、現地状況を確認して排水管受口をかわして接続すること。

取付金具詳細 S=1:10

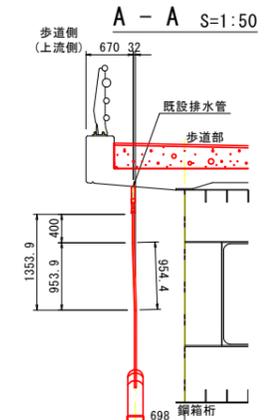


断面図 S=1:60

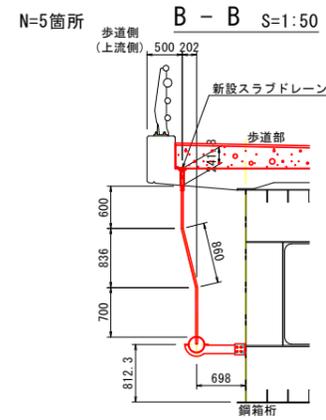
(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)



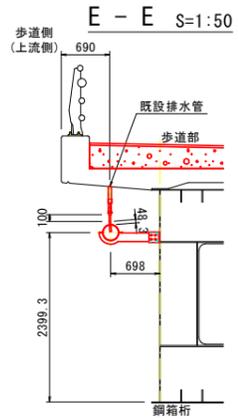
※ P4橋脚付近は、国土交通省の堤防工事により現況地形が変化している。便宜上、P4橋脚まで河川敷部とした。



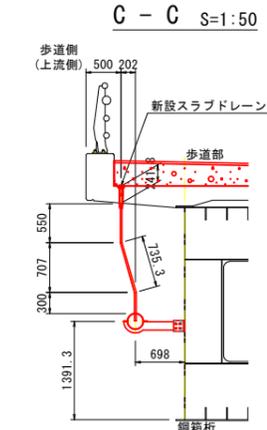
- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=3590mm (SUS304)



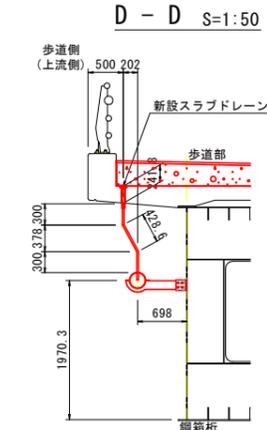
- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=2260mm (SUS304)



- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=250mm (SUS304)

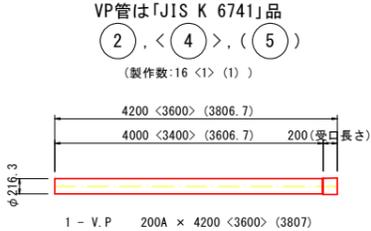


- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=1690mm (SUS304)

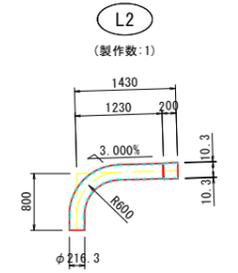


- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=1130mm (SUS304)

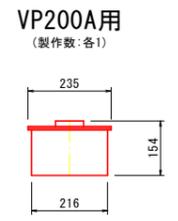
直管詳細 S=1:50



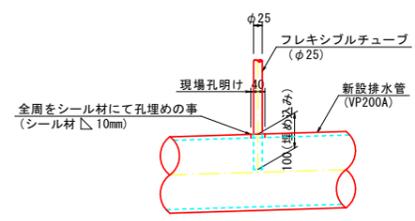
加工管詳細 S=1:50



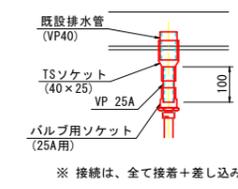
キャップ詳細 S=1:10



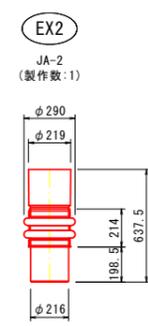
フレキシブルチューブ 接続詳細 S=1:10



既設排水管 接続詳細 S=1:10



伸縮管詳細 S=1:20



注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- ボルト・ナットは全てゆるみ止めのものを使用する。
- ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0m+73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋)
路線名等	(一)三加茂三好線 東・加茂地 橋梁修繕工事
工事箇所	三好東よし町加茂地(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その5)
縮尺	図示 図面番号 4 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

橋面防水工図(その6)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

歩道張出部排水詳細<3/3> S=1:50

(鋼箱桁外側:河川部)

P5橋脚部:河川部

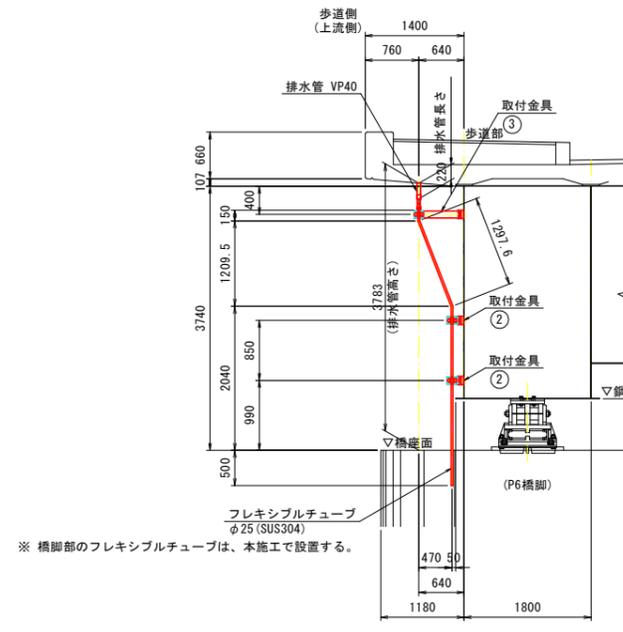
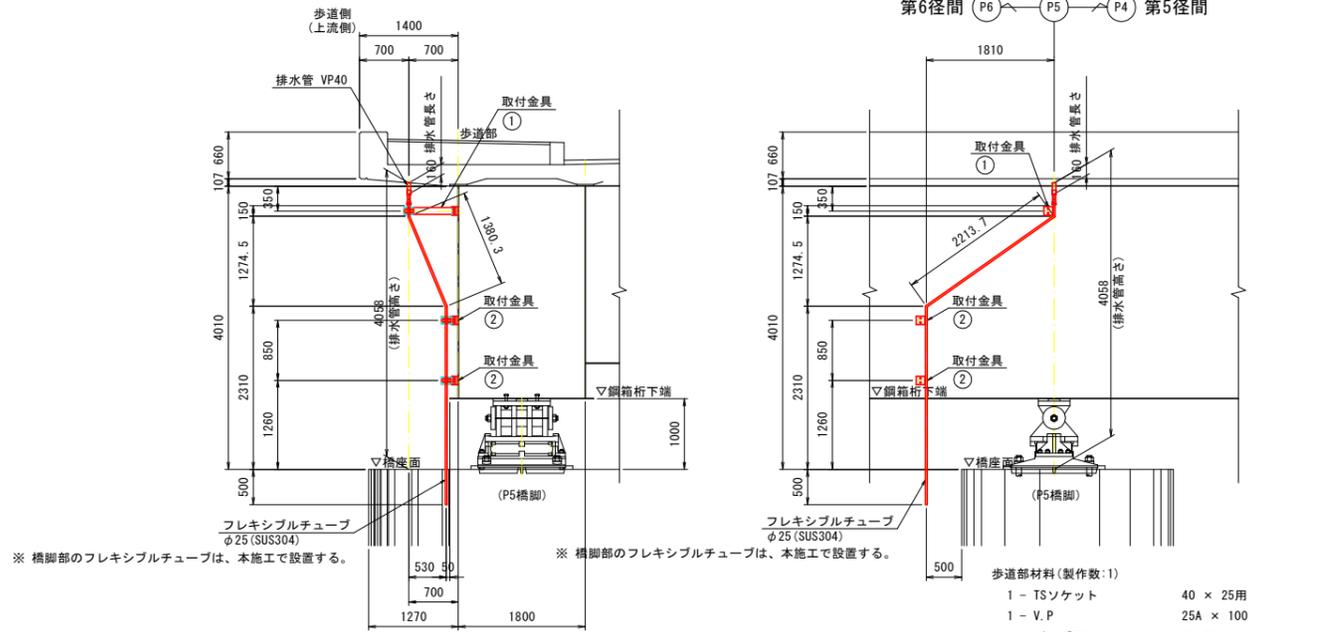
P6橋脚部:河川部

正面図

側面図

正面図

側面図



取付金具詳細 S=1:5

① ~ ③

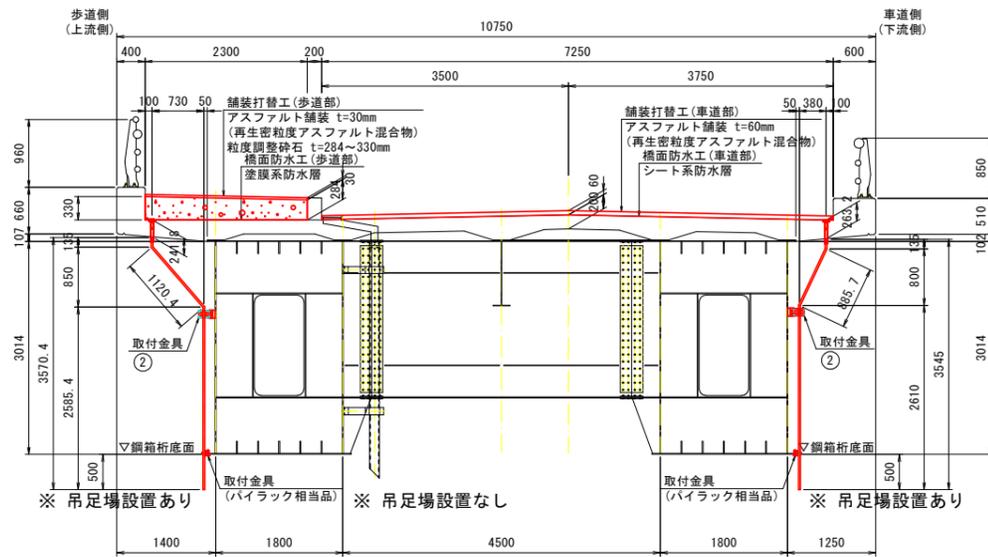
(製作数:P4-P5間=N1組, P5-P6間=N2組)

- 歩道部材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=5480mm (SUS304)
 - 3 - 取付金具(①×1組, ②×2組)(現場塗装:F-15塗装系)

- 歩道部材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=4160mm (SUS304)
 - 3 - 取付金具(②×2組, ③×1組)(現場塗装:F-15塗装系)

断面図

(4径間連続箱桁橋:P4~P6[河川部]第5・第6径間)

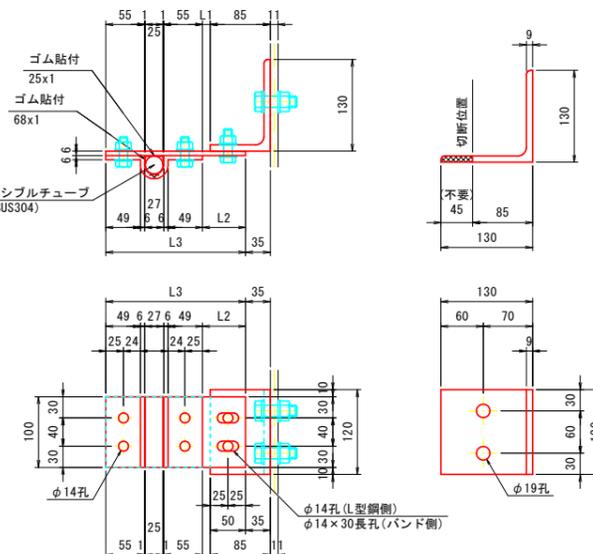


- 歩道部1箇所当り材料(製作数:P4-P5間=3組, P5-P6間=2組)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブドレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=3850mm (SUS304)
 - 1 - 取付金具
 - 1 - 取付金具(バイラック相当品)

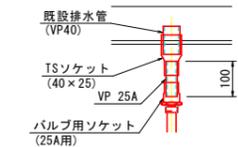
- 車道部1箇所当り材料(製作数:P4-P5間=11組, P5-P6間=11組)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=263mm
 - 1 - スラブドレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=3640mm (SUS304)
 - 1 - 取付金具
 - 1 - 取付金具(バイラック相当品)

- 1組当たり材料(製作数:P4-P5間=N1組, P5-P6間=N2組)
- ※ 1 - L 130 × 130 × 9 × 120 (SS400)
 - ※ 1 - PL L3 × 6 × 100 (SS400)
 - ※ 1 - PL 177 × 6 × 100 (SS400)
 - 1 - GUM 25 × 1 × 100 (クロロブレンゴム硬度55 ± 5° 程度)
 - 1 - GUM 68 × 1 × 100 (クロロブレンゴム硬度55 ± 5° 程度)
 - ※ 2 - B.N M16 × 50 (SS400) (2W, UNut付)
 - ※ 2 - B.N M12 × 40 (SS400) (2W, UNut付)
 - ※ 4 - B.N M12 × 35 (SS400) (2W, UNut付)

L材加工詳細図



既設排水管 接続詳細 S=1:10



※ 接続は、全て接着+差し込みの事。

第5・第6径間:歩道部・車道部・橋脚部

	L1	L2	L3	N1(組)	N2(組)
①	541	591	728	-	(1)
②	11	61	198	14	13(4)
③	481	531	668	-	(1)

※ () は、橋脚部を示す。

注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- アスファルト舗装厚は、現地切削後確認上決定すること。
- 床版を削孔する際は、事前に鉄筋探査を行い鉄筋を傷つけないように注意すること。
- ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0m+73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂地 橋梁修繕工事		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町加茂地(三三大橋)		
図面名	橋面防水工図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>		

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

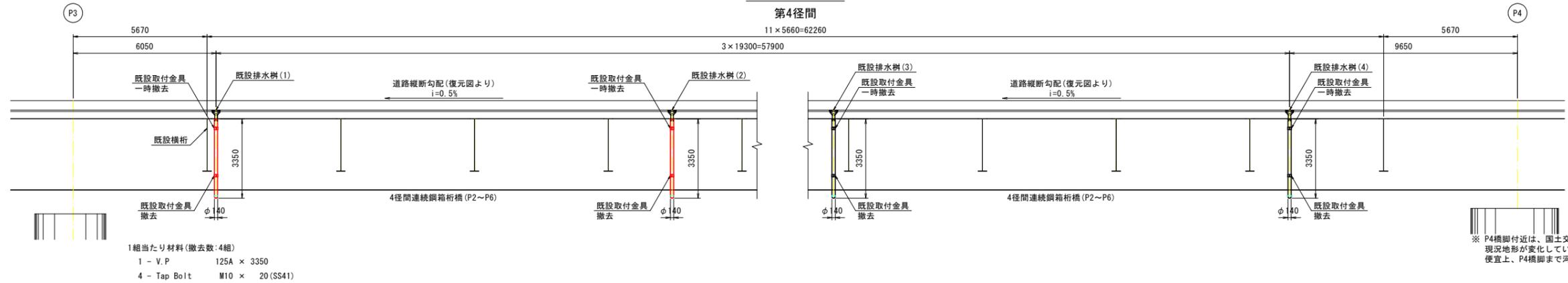
橋面防水工図(その8)

(4径間連続鋼箱桁橋区間:第4径間)

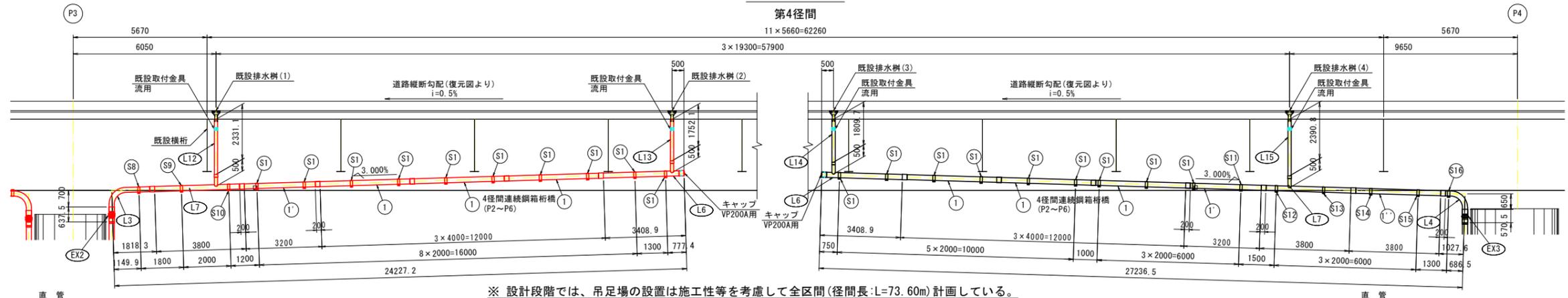
歩車道境界部排水詳細<2/3> S=1:100

(鋼箱桁内側:河川敷部)

撤去図

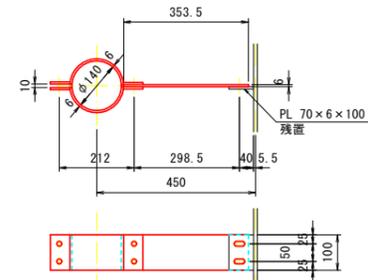


補修図



既設取付金具撤去詳細 S=1:10

(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)

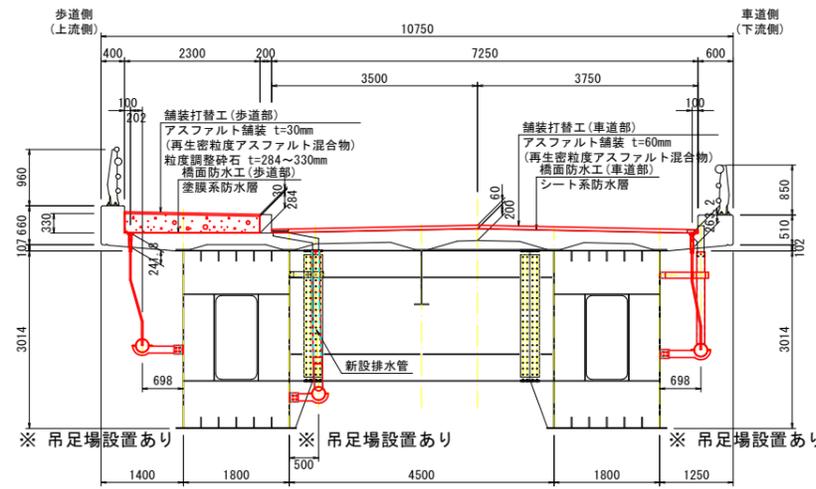


※ 上側取付金具は、一時撤去後復旧(ボルトのみ取替)

- 1組当たり材料(撤去数:P2-P3間=4組、P3-P4間=4組)
- 2 - F.B 100 × 6 × 330(SS41)
 - 1 - F.B 100 × 6 × 354(SS41)
 - 4 - B.N M12 × 40(SS41)
 - 2 - B.N M12 × 30(SS41)
 - 4 - B.N M12 × 40(SS41)
 - 2 - B.N M12 × 30(SS41)
- 1組当たり材料(一時撤去復旧数:P2-P3間=4組、P3-P4間=4組)
- 2 - F.B 100 × 6 × 330(SS41)
 - 1 - F.B 100 × 6 × 354(SS41)
- 1組当たり材料(製作数:P2-P3間=4組、P3-P4間=4組)
- 2 - B.N M12 × 45(SS400) (2W, UNut付)
 - 2 - B.N M12 × 40(SS400) (2W, UNut付)
 - 2 - B.N M12 × 35(SS400) (2W, UNut付)

断面図 S=1:60

(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)



- 直管
① 3 - V.P 200A × 4200
①' 1 - V.P 200A × 3400
- VP管は「JIS K 6741」品
- 加工管
1 - L4
1 - L6
1 - L7
1 - L14
1 - L15
- 取付金具
9 - S1
1 - S11
1 - S12
1 - S13
1 - S14
1 - S15
1 - S16
- 伸縮管
1 - EX3

注記
1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
3. 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
4. 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

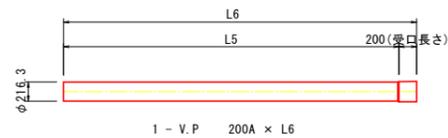
実施設計図面

三三三橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三三橋) 東・加茂他 橋梁修繕工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好東みよし町加茂他(三三三橋)
図面名	橋面防水工図(その8)
縮尺	図示 図面番号 6 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

直管詳細

① ~ ①' VP管は「JIS K 6741」品 (製作数:1)



第4径間:歩車道境界:P3側

	L5	L6	N1
有効長			
全長			
①	4000	4200	3
①'	3200	3400	1

第4径間:歩車道境界:P4側

	L5	L6	N1
有効長			
全長			
①	4000	4200	3
①'	3200	3400	1
①''	3800	4000	1

※ 取付金具詳細図:S1~S8~S16は、その9を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三三橋」の復元図から想定で作成
P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

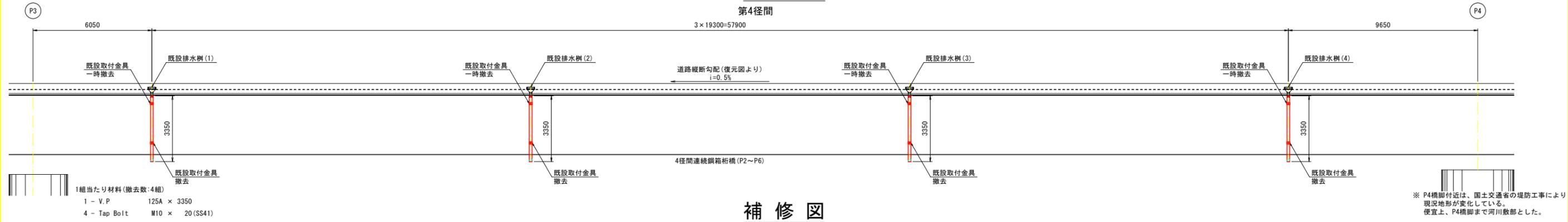
橋面防水工図(その11)

(4径間連続鋼箱桁橋区間:第4径間)

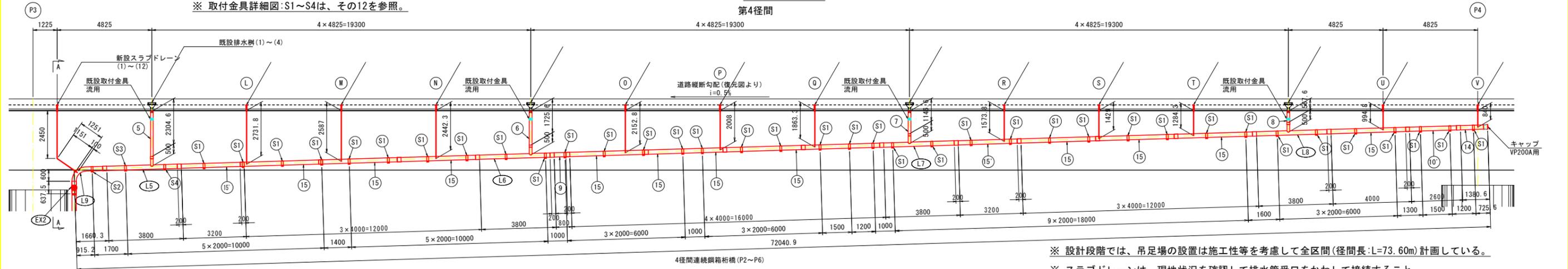
車道部排水詳細<2/3> S=1:100

(鋼箱桁外側:河川敷部)

撤去図



補修図



直管

⑤	1 - V.P	125A × 2409
⑥	1 - V.P	125A × 1830
⑦	1 - V.P	125A × 1251
⑧	1 - V.P	125A × 672
⑨	1 - V.P	200A × 1000
⑩	1 - V.P	200A × 2800
⑪	1 - V.P	200A × 2800
⑫	1 - V.P	200A × 2800
⑬	1 - V.P	200A × 2800
⑭	1 - V.P	200A × 1581
⑮	11 - V.P	200A × 4200
⑯	2 - V.P	200A × 3400

VP管は「JIS K 6741」品

加工管

1 -	⑬
1 -	⑭
1 -	⑮
1 -	⑯

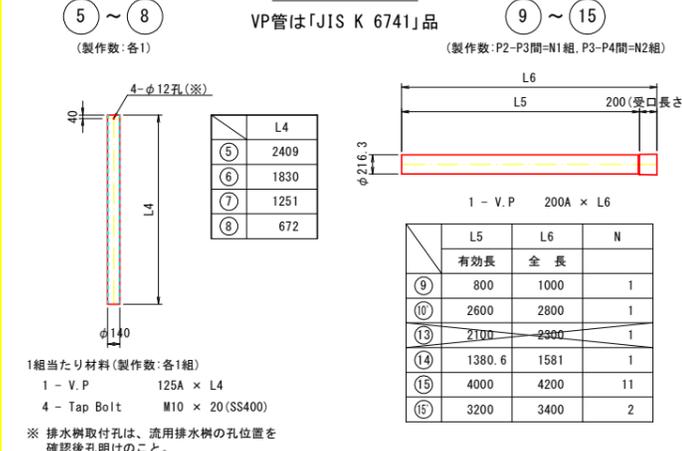
取付金具

37 -	①
1 -	②
1 -	③
1 -	④

伸縮管

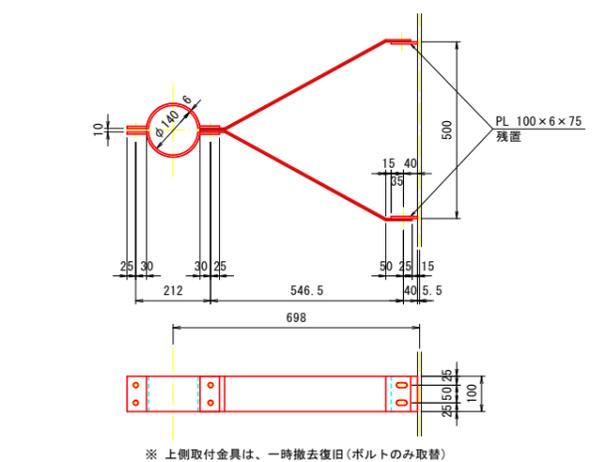
1 -	EX2
-----	-----

直管詳細



既設取付金具撤去詳細 S=1:10

(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)



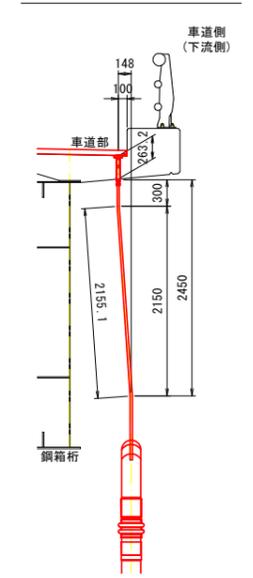
1組当たり材料(撤去数:P2-P3間=4組, P3-P4間=4組)

2 -	F.B	100 × 6 × 330(SS41)
2 -	F.B	100 × 6 × 670(SS41)
4 -	B.N	M12 × 40(SS41)
4 -	B.N	M12 × 30(SS41)
4 -	B.N	M12 × 40(SS41)
4 -	B.N	M12 × 30(SS41)

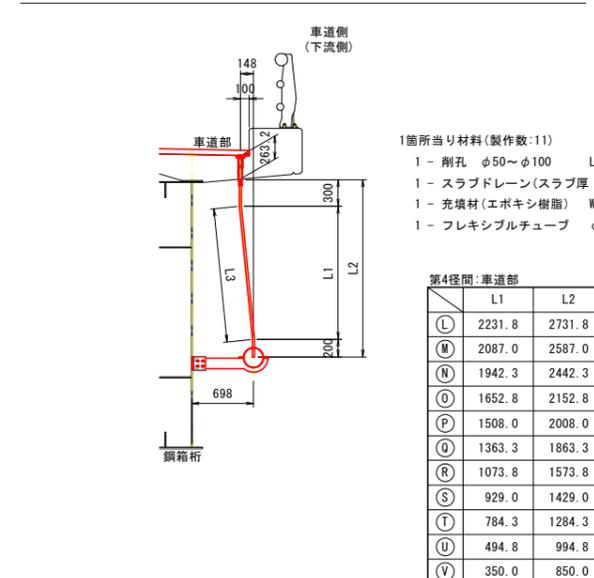
1組当たり材料(一時撤去復旧数:P2-P3間=4組, P3-P4間=4組)

2 -	F.B	100 × 6 × 330(SS41)
2 -	F.B	100 × 6 × 670(SS41)
4 -	B.N	M12 × 45(SS400) (2W, UNut付)
4 -	B.N	M12 × 35(SS400) (2W, UNut付)
4 -	B.N	M12 × 30(SS41)

A-A S=1:40



フレキシブルチューブ詳細 S=1:40



1箇所当たり材料(製作数:11)

1 -	削孔	φ50~φ100	L=263mm
1 -	スラドレイン(スラブ厚 240~350用)		
1 -	充填材(エポキシ樹脂)	W=0.14kg	1200kg/m ³
1 -	フレキシブルチューブ	φ25 L=LL1mm	(SUS304)

第4径間:車道部

	L1	L2	L3	LL1
①	2231.8	2731.8	2236.7	2740
②	2087.0	2587.0	2092.2	2600
③	1942.3	2442.3	1947.9	2450
④	1652.8	2152.8	1659.4	2160
⑤	1508.0	2008.0	1515.2	2020
⑥	1363.3	1863.3	1371.3	1880
⑦	1073.8	1573.8	1084.0	1590
⑧	929.0	1429.0	940.7	1450
⑨	784.3	1284.3	798.1	1300
⑩	494.8	994.8	516.5	1020
⑪	350.0	850.0	380.0	880

注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mから73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁線手位置・横断位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線 (三三大橋)
路線名等	(一)三加茂三好線 東・加茂地 橋梁修繕工事
工事箇所	三好郡東よし町加茂地(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その11)
縮尺	図示 図面番号 8 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

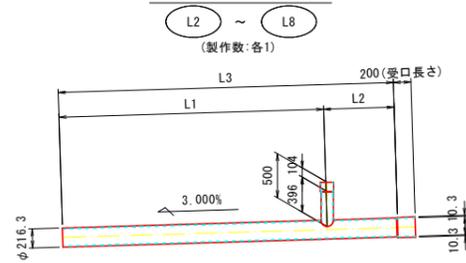
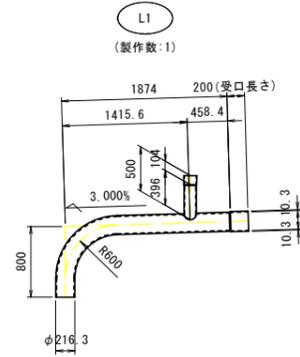
橋面防水工図(その12)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

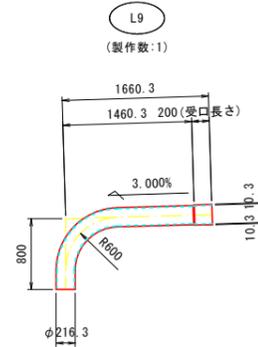
車道部排水詳細<3/3> S=1:40

(鋼箱桁外側:河川敷部)

加工管詳細

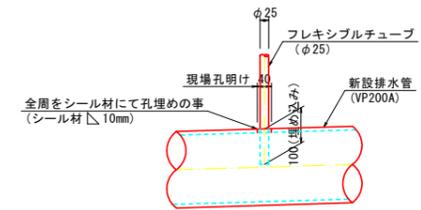


	L1	L2	L3
L2	3000	800	3800
L3	3008.7	791.3	3800
L4	1517.4	782.6	2300
L5	2500	1300	3800
L6	2808.7	991.3	3800
L7	1517.4	2282.6	3800
L8	1826	1974	3800



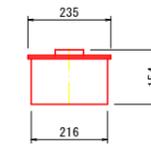
フレキシブルチューブ 接続詳細 S=1:10

接続詳細



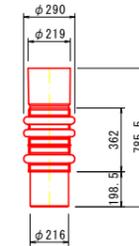
キャップ詳細 S=1:10

VP200A用 (製作数:2)

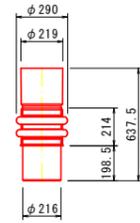


伸縮管詳細 S=1:20

EX1 JA-3 (製作数:1)

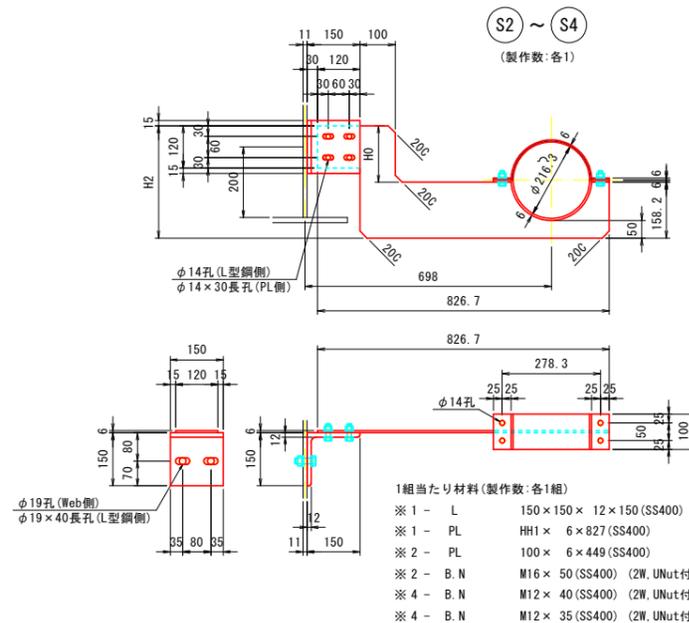
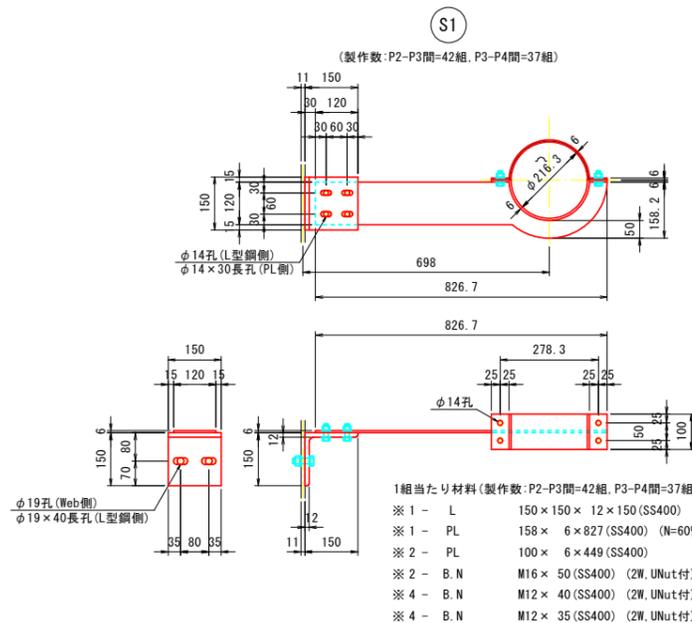


EX2 JA-2 (製作数:1)



※ 直管詳細図①~⑧・⑨~⑮は、橋面防水工図(その10)、(その11)に記す。

取付金具詳細 S=1:10



	(N=40%)	(N=45%)	(N=55%)
S2	211	160	100
S3	369.1	318.1	258.2
S4	369	318	258

※ 各詳細図および数量表は、第3・第4径間:車道部を示す。

- 注記
- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 - 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 - ボルト・ナットは全てゆるみ止めのものを使用する。
 - ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主幹線手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂地 橋梁補修工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好東よみし町加茂地(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その12)
縮尺	図示 図面番号 9 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成 P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

橋面防水工図(その14)

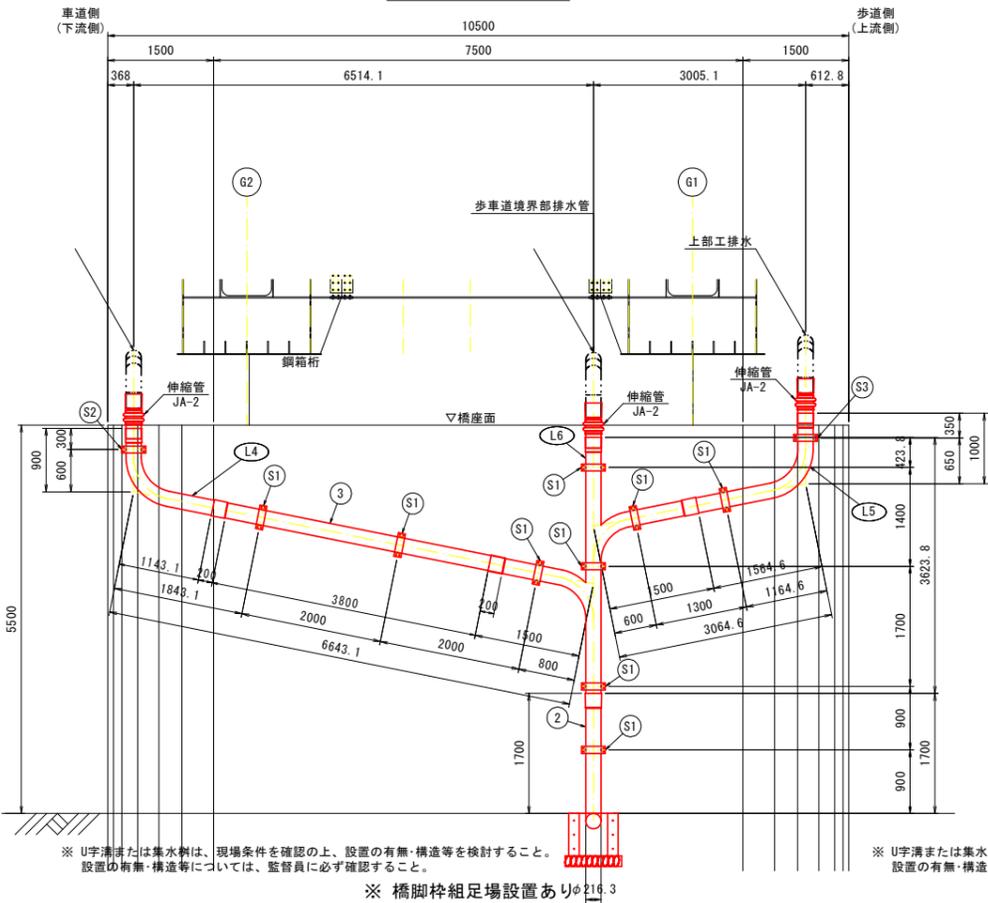
(4径間連続鋼箱桁橋区間)

下部工排水詳細<2/4> S=1:50

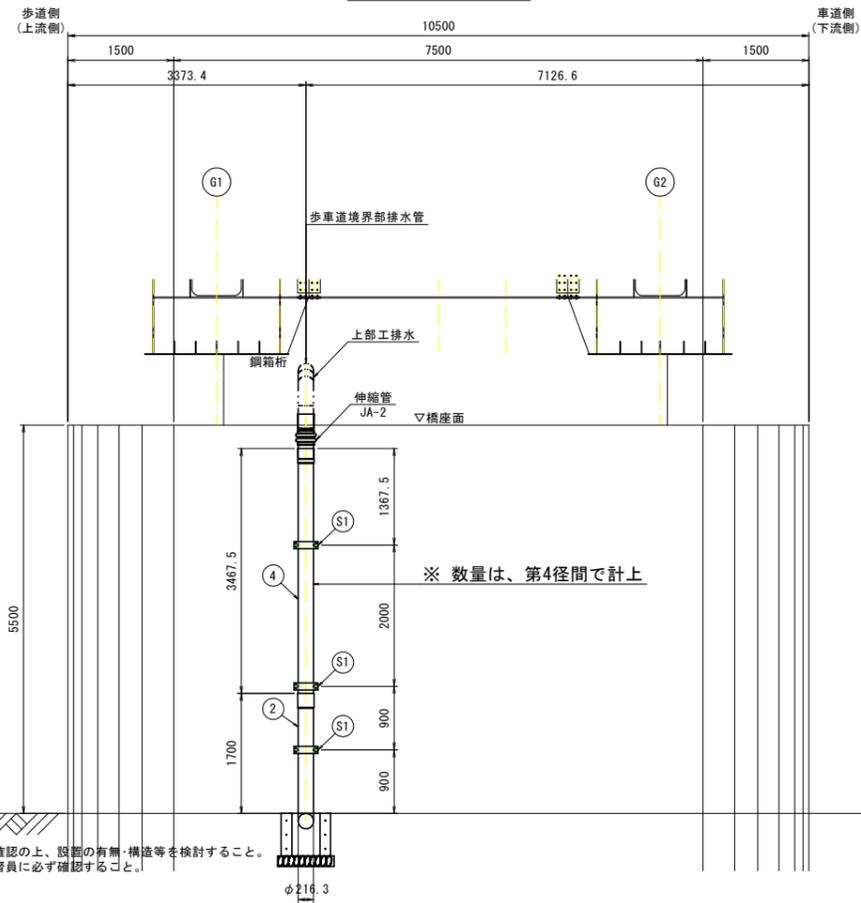
P3橋脚:河川敷部(第4径間)

正面図

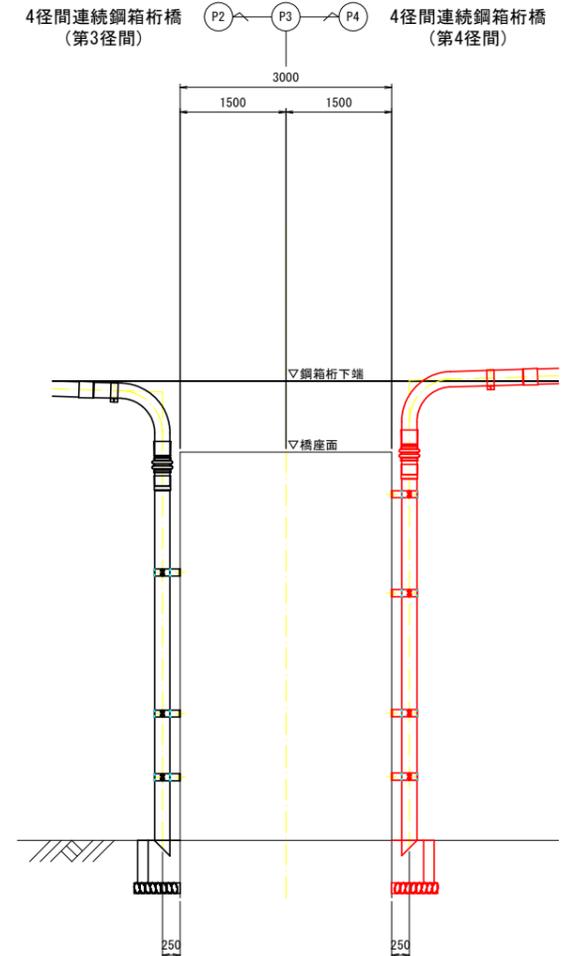
A - A(第4径間)



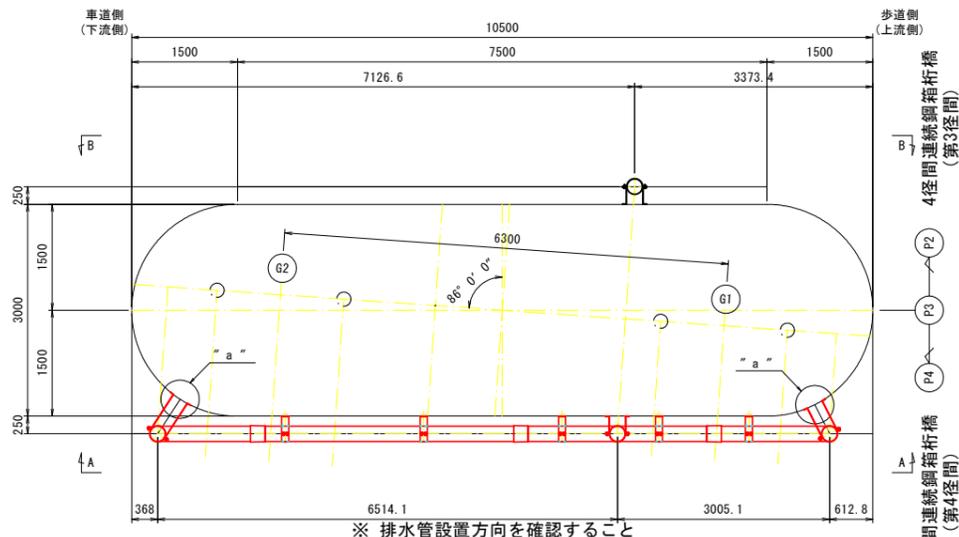
B - B(第3径間)



側面図



平面図



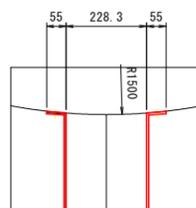
※ 橋脚柱組足場設置あり

直管	取付金具
② 2 - V.P 200A × 1916	12 - S1
③ 1 - V.P 200A × 4200	1 - S2
④ 1 - V.P 200A × 3668	1 - S3

加工管	取付金具
1 - L4	12 - S1
1 - L5	1 - S2
1 - L6	1 - S3

VP管は「JIS K 6741」品

"a"部詳細 S=1:10



注記
 1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. 第3径間～第6径間(P2橋脚～P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間～第9径間(P6橋脚～A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
 4. 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間～第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
 このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂他 橋梁補修工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東よし町加茂他(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その14)
縮尺	図示 図面番号 10/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>

※ 伸縮管(JA-3)の数量は、歩道張出部・歩車道境界部・車道部で計上。

※ 取付金具詳細図:S1～S3は、その16を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成 P2～P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

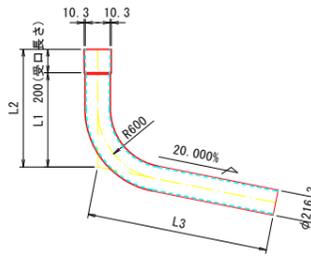
橋面防水工図(その16)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

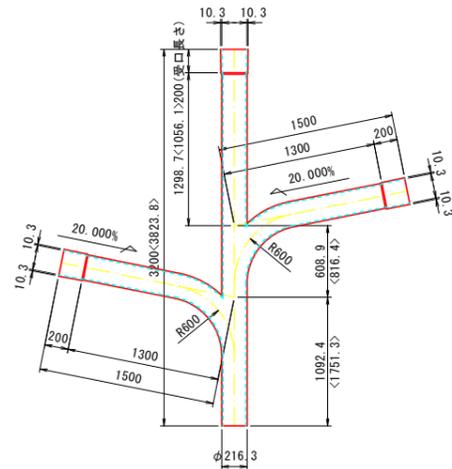
下部工排水詳細<4/4> S=1:30

(P2橋脚~P4橋脚:河川敷部)

加工管詳細

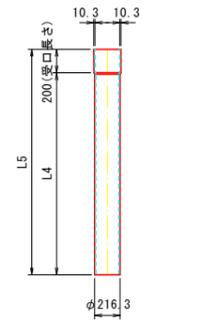


	L1	L2	L3
L1	800	1000	1342.9
L2	700	900	1764.8
L4	700	900	1343.1
L5	800	1000	1764.6



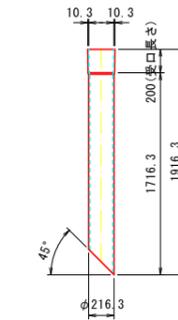
直管詳細

VP管は「JIS K 6741」品

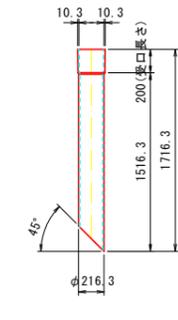


1組当たり材料(製作数:各1組)
1 - V.P 200A x L5

	L4	L5
有効長		全長
①	952.6	1152.6
③	4000	4200
④	3467.5	3667.5
⑤	3758.8	3958.8



1組当たり材料(製作数:P2,P3=各1組)
1 - V.P 200A x 1916

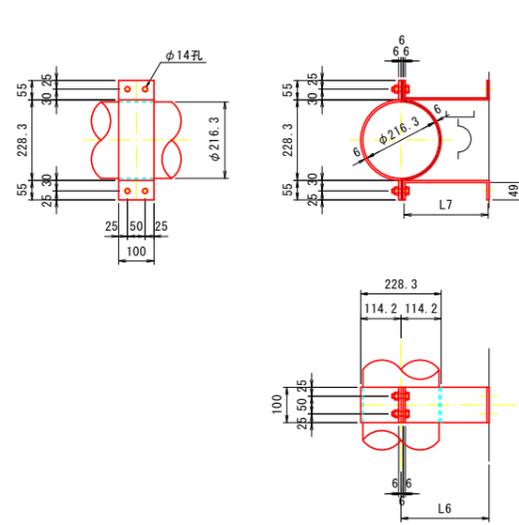


1組当たり材料(製作数:P4=各1組)
1 - V.P 200A x 1716

取付金具詳細 S=1:10



(製作数:P2橋脚=N1組,P3橋脚=N2組,P4橋脚=N3組)



1組当たり材料(製作数:P2橋脚=N1組,P3橋脚=N2組,P4橋脚=N3組)

- ※ 2 - PL 100 x 6 x 459 (SS400)
- ※ 2 - PL 100 x 6 x LL1 (SS400)
- ※ 4 - B.N M12 x 40 (SS400) (2W, UNut付)
- ※ 4 - 打込み式アンカー M12 x 100 (SS400)

	L6	L7	LL1	N1(組)	N2(組)	N3(組)
S1	250	238	342	12	12	5
S2	584.2	572.2	676	-	1	-
S3	462.1	450.1	554	-	1	-

※ 各詳細図および数量表は、P2・P3・P4橋脚(第3・第4径間)を示す。

- 注記
- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 - 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 - ボルト・ナットは全てゆるみ止めのものを使用する。
 - ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0m+73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりか

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R 7 三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂他 橋梁修繕工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂他(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その16)
縮尺	図示 図面番号 11/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

橋面防水工図(その18)

(3径間連続鋼箱桁橋区間)

歩道部排水詳細 S=1:50

(鋼箱桁外側:河川部・河川敷部)

P7橋脚部:河川部

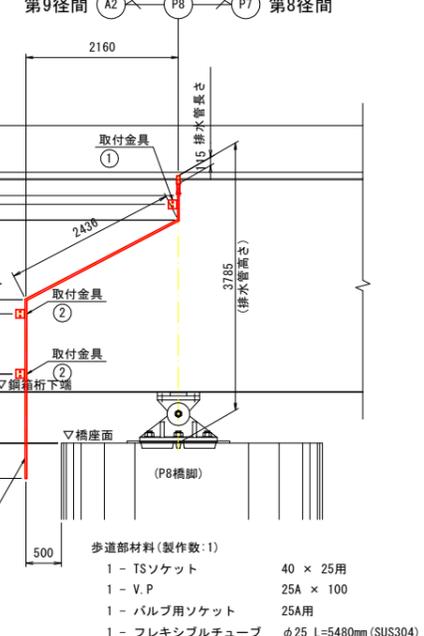
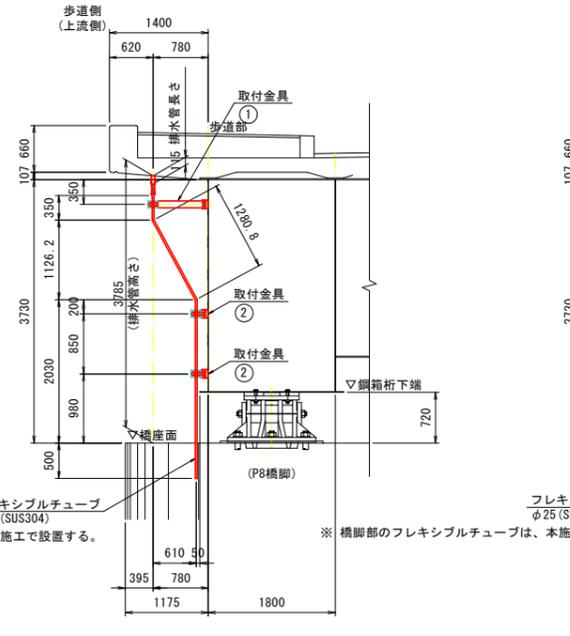
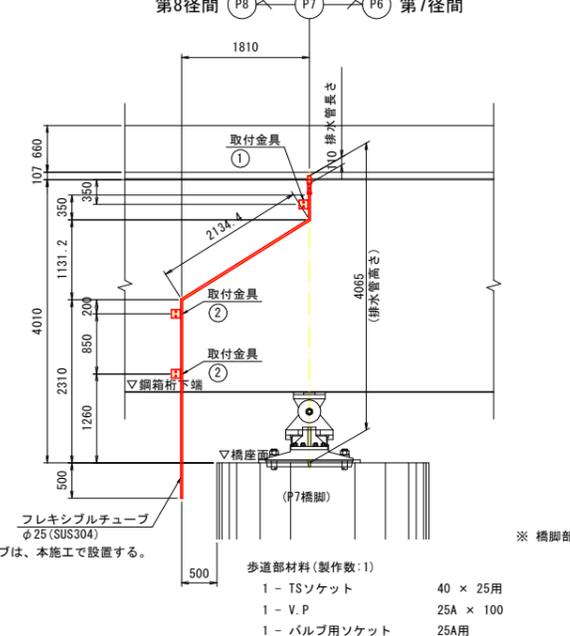
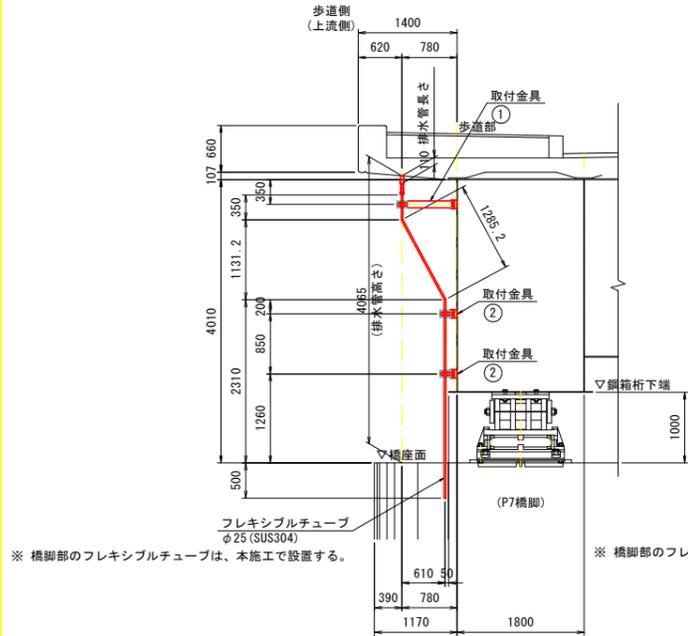
P8橋脚部:河川部

正面図

側面図

正面図

側面図



※ 橋脚部のフレキシブルチューブは、本施工で設置する。

※ 橋脚部のフレキシブルチューブは、本施工で設置する。

※ 橋脚部のフレキシブルチューブは、本施工で設置する。

※ 橋脚部のフレキシブルチューブは、本施工で設置する。

- 歩道部材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=5450mm(SUS304)
 - 3 - 取付金具

- 歩道部材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=5480mm(SUS304)
 - 3 - 取付金具

取付金具詳細 S=1:5

① ~ ③

(製作数:P6-P7間=N1組, P7-P8間=N2組, P8-A2間=N3組)

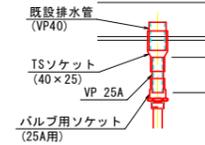
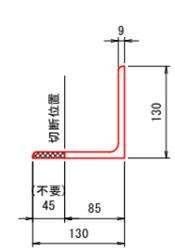
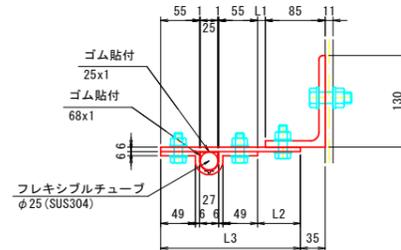
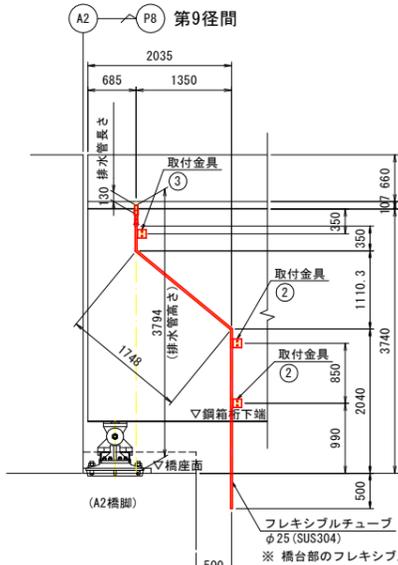
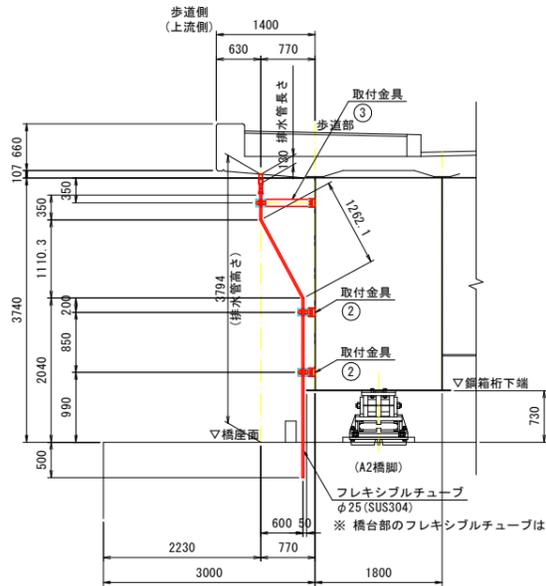
A2橋台部:河川敷部

正面図

側面図

L材加工詳細図

既設排水管 接続詳細 S=1:10



※ 接続は、全て接着+差し込みの事。

- 歩道部材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=4790mm(SUS304)
 - 3 - 取付金具

- 1組当たり材料(製作数:P6-P7間=N1組, P7-P8間=N2組, P8-A2間=N3組)
- ※ 1 - L 130 × 130 × 9 × 120(SS400)
 - ※ 1 - PL L3 × 6 × 100(SS400)
 - ※ 1 - PL 177 × 6 × 100(SS400)
 - 1 - GUM 25 × 1 × 100(クロロブレンゴム硬度55±5°程度)
 - 1 - GUM 68 × 1 × 100(クロロブレンゴム硬度55±5°程度)
 - ※ 2 - B.N M16 × 50(SS400)(2W, UNut付)
 - ※ 2 - B.N M12 × 40(SS400)(2W, UNut付)
 - ※ 4 - B.N M12 × 35(SS400)(2W, UNut付)

第7・第8径間:歩道部・車道部・橋脚部

	L1	L2	L3	N1	N2	N3
①	621	671	808	-	(1)	(1)
②	11	61	198	16	14(2)	13(4)
③	611	661	798	-	-	(1)

※ ()は、橋脚部を示す。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三三橋」の復元図から作成

- 注記
1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. アスファルト舗装厚は、現地切削後確認上決定すること。
 4. 床版を削孔する際は、事前に鉄筋探査を行い鉄筋を傷つけないように注意すること。
 5. ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。

実施設計図面

三三三橋:補修計画図

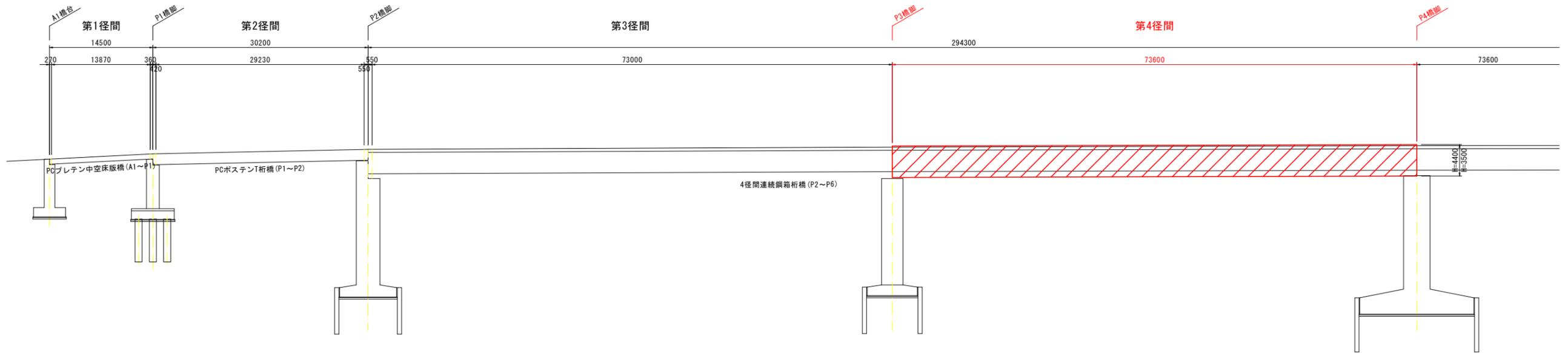
工事名	R7三土 三加茂三好線(三三三橋) 東・加茂他 橋梁補修工事		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町加茂他(三三三橋)		
図面名	橋面防水工図(その18)		
縮尺	図示	図面番号	13/16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>		

吊足場工計画図(参考図)(その2)

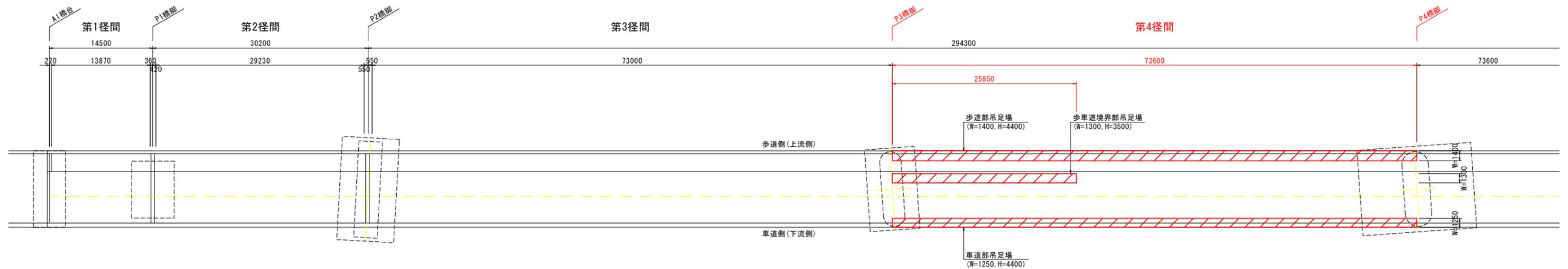
(4径間連続鋼箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)

【橋面防水工(床版排水孔・スラブレーン設置工)・排水管設置工用】

側面図 S=1:300

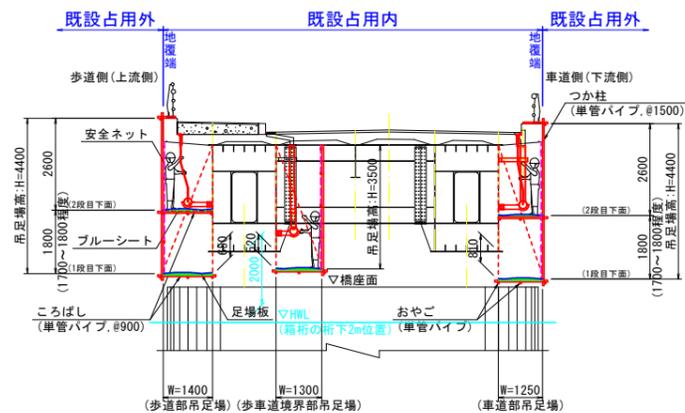


平面図 S=1:300



断面図 S=1:100

(4径間連続鋼箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)



※ 吊足場設置高さ・設置幅は、現場・作業状況に応じて適宜調整すること。
設計段階では最小設置高さ・最小設置幅で計画している。
吊足場設置下端位置は、鋼箱桁下2m位置がH/Wのためこれを優さないこと。

吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P2~P3[第3径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.55	2	205.9
歩道境界部	1.30	73.55	1	95.6
車道部(下流側)	1.25	73.55	2	183.9

※ 足場延長は径間長とした。

吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P3~P4[第4径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.60	2	206.1
歩道境界部	1.30	25.85	1	33.6
車道部(下流側)	1.25	73.60	2	184.0

※ 足場延長は径間長とした。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂他 橋梁修繕工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂他(三三大橋)
図面名	吊足場工計画図(参考図)(その2)
縮尺	図示 図面番号 14/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>

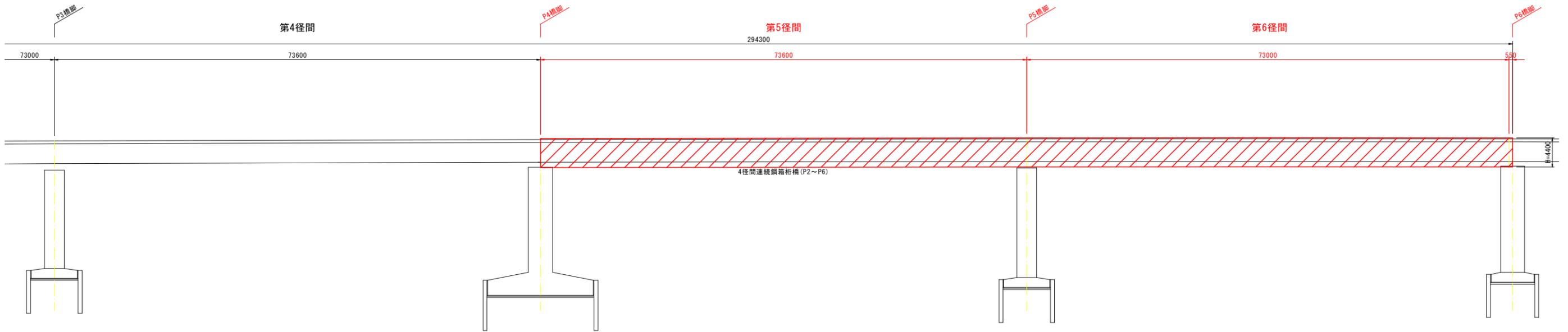
※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成

吊足場工計画図(参考図)(その3)

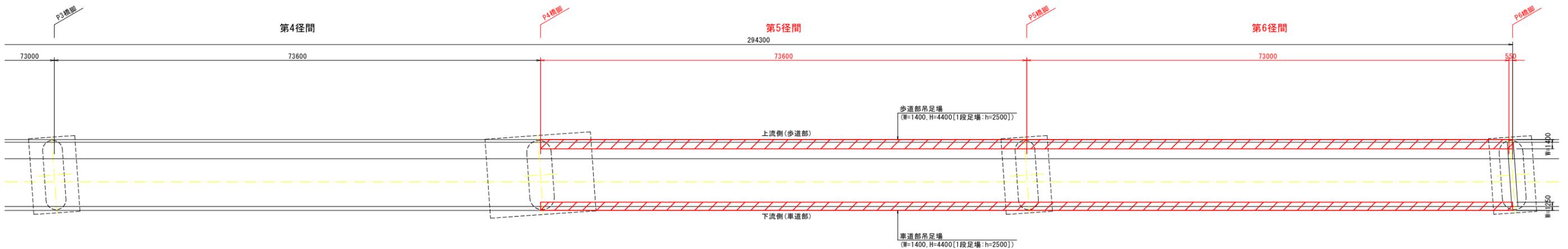
(4径間連続鋼箱桁橋:P4~P6[河川部]第5・第6径間)

【橋面防水工用(床版排水孔設置工)】

側面図 S=1:300

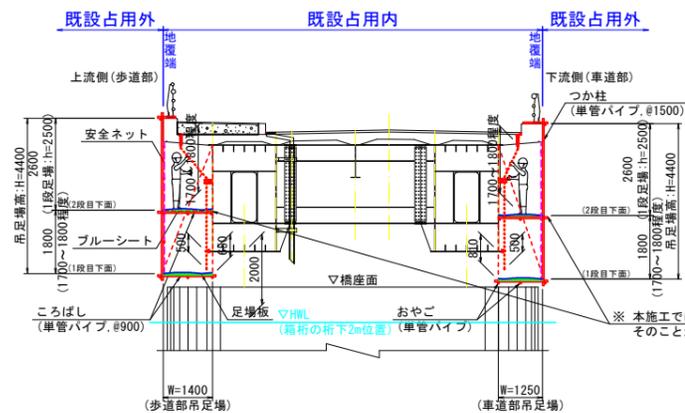


平面図 S=1:300



断面図 S=1:100

(4径間連続鋼箱桁橋:P4~P6[河川部]第5・第6径間)



吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P4~P5[第5径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.60	1	103.0
車道部(下流側)	1.25	73.60	1	92.0

※ 足場延長は径間長とした。

吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P5~P6[第6径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.55	1	103.0
車道部(下流側)	1.25	73.55	1	91.9

※ 足場延長は径間長とした。

※ 吊足場設置高さ・設置幅は、現場・作業状況に応じて適宜調整すること。
設計段階では最小設置高さ・最小設置幅で計画している。
吊足場設置下端位置は、鋼箱桁下2m位置がHWLのためこれを侵さないこと。
歩道部・車道部吊足場は、本施工ではフレキシブルチューブを設置しない予定である。そのため、橋脚部吊足場を除き足場段数は1段となる。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

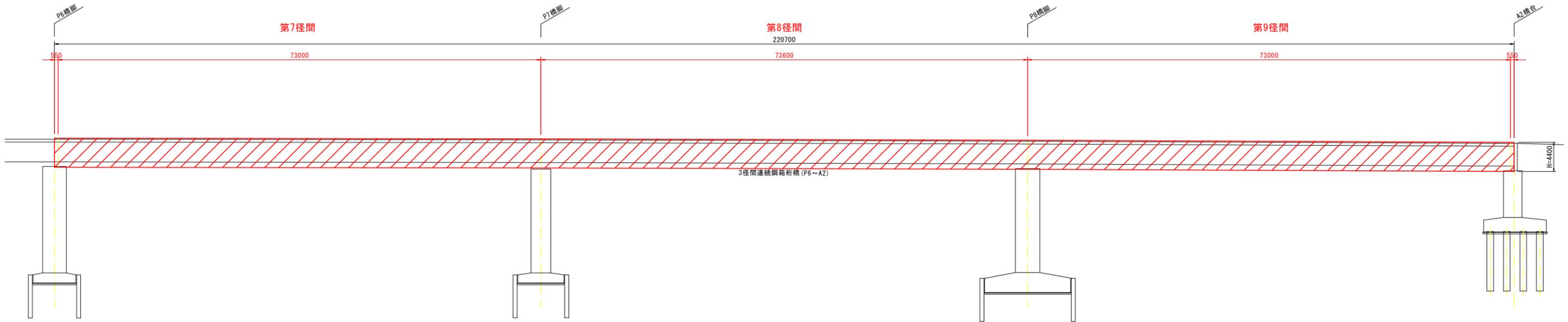
工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂他 橋梁修繕工事
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂他(三三大橋)
図面名	吊足場工計画図(参考図)(その3)
縮尺	図示 図面番号 15/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>

吊足場工計画図(参考図)(その4)

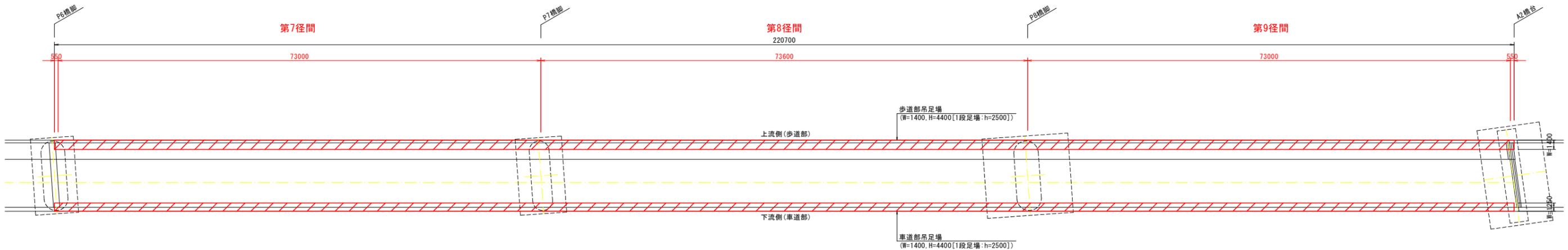
(3径間連続鋼箱桁橋:P6~A2[河川部]第7~第9径間)

【橋面防水工用(床版排水孔設置工)】

側面図 S=1:300

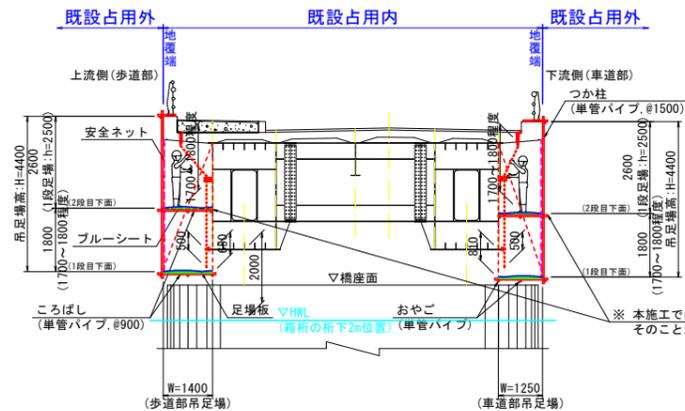


平面図 S=1:300



断面図 S=1:100

(3径間連続鋼箱桁橋:P6~A2[河川部]第7~第9径間)



※ 吊足場設置高さ・設置幅は、現場・作業状況に応じて適宜調整すること。
設計段階では最小設置高さ・最小設置幅で計画している。
吊足場設置下端位置は、鋼箱桁下2m位置がHWLのためこれを侵さないこと。
歩道部・車道部吊足場は、本施工ではフレキシブルチューブを設置しない予定である。そのため、橋脚部吊足場を除き足場段数は1段となる。

吊足場数量表(3径間連続鋼箱桁:P6~P7[第7径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.55	1	103.0
車道部(下流側)	1.25	73.55	1	91.9

※ 足場延長は径間長とした。

吊足場数量表(3径間連続鋼箱桁:P7~P8[第8径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.60	1	103.0
車道部(下流側)	1.25	73.60	1	92.0

※ 足場延長は径間長とした。

吊足場数量表(3径間連続鋼箱桁:P8~A2[第9径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m2)
歩道部(上流側)	1.40	73.55	1	103.0
車道部(下流側)	1.25	73.55	1	91.9

※ 足場延長は径間長とした。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R7三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂他 橋梁修繕工事		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東よし町加茂他(三三大橋)		
図面名	吊足場工計画図(参考図)(その4)		
縮尺	図示	図面番号	16/16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>		

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成